

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和8年5月14日（木） 18時00分～19時20分
開催場所	市役所本庁舎サードプレイス
会場責任者	渡部 伸広
記録者	中村 美津緒
出席議員	渡部 伸広、里村 誠悦、赤平 勇人、中村 美津緒、木戸 喜美男、 工藤 健、長谷川 章悦
参加者数	5名
報告内容	令和8年第1回青森市議会定例会の主な出来事について
意見交換内容 （意見の要旨）	テーマ：除排雪について 【除排雪体制案件について】 ・通学路の安全確保。 ・排雪ルートのある方。 ・業者不足・人手不足。 ・ダンプ不足。 ・生活道路への対応。 ・市民と業者の認識の差。 ・「どこまで対応可能か」という限界の共有。 ・雪寄せ場の確保（小・中・高校）合浦公園。 ・工区単価は昔から意識意欲が低くなった。 ・一斉除雪がめっちゃくちゃ（業者で意識がバラバラ）。 ・そもそも雪の降りかたが異常。 ・2段階除雪は雪の降り方で変わる。 ・2段階除雪は悪くはないが指揮命令が大事。 ・情報に振り回された。 特に現場からは「やりたくても人も車も足りない」、「補助路線対応より幹線除雪優先になる」など切実な声もあった。 ・「なぜここだけ入らないのか」 ・「公平性が見えない」 ・「情報が伝わらない」 といった意見も出された。 【暮らしやすい道路・空間づくり】 ・車庫前処理 ・道路幅員 ・塀・敷地との関係 ・歩きやすい空間 ・雪と生活動線の両立 など、冬の青森市特有の課題が共有された。 「歩いて暮らせるまち」、「道路をただ通る場所ではなく、人がつながる場所へ」という意見もあり、単なる除雪議論を超えた“まちづくり”視点が見られた。

	【市側・市民に対する意見】 ・準備不足。 ・情報共有。 ・豪雪時対応。 ・段取り。 ・シーズン契約は距離ではなく面積や除排雪しづらい環境も考慮すべき。 ・市側へ、入り組んだ道路への追加費用を出して。 ・春の物損の言いがかりを市民にはやめてほしい。 ・地域住民と市と業者とコミュニケーションを。 ・指揮命令系統を一本化。 ・市民の雪だしもパトロール内容へ。 ・評価制度が納得いかない。 ・乱暴な業者がいることは我々がわかっている。市が指導を。 ・マンホールが高くなっている地域の早期見直しを（修繕）。 ・工区割の見直しを。 ・重機待機場所が近い工区へ配置換えを。 ・時間帯によって指揮系統が変わり混乱。 など、運営力に関する議論も行われた。 「慌てないための準備」、「連絡体制の大切さ」が共通認識として挙げられた。 【今後に向けて】 ・現場の声を継続的に聞くこと。 ・業者との対話機会を増やすこと。 ・市民への情報共有を強化すること。 ・通学路や生活道路の優先順位整理。 ・持続可能な除排雪体制の検討。 などが必要であると感じた。
記録者所見	本報告会・意見交換会を通じて、除排雪といった切実な生活課題から、中長期的な公共空間の在り方、人口減少社会におけるまちづくりの方向性まで、多岐にわたる重要な論点が共有された。 対話を通じて得られた「できること、できないこと」の冷静な見極めと、地域や業者との協働の必要性が改めて浮き彫りとなった。

青森市議会議長 様

令和8年5月25日

上記のとおり報告いたします。

会場責任者 都市建設常任委員長 渡部 伸広

